

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院脳神経外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

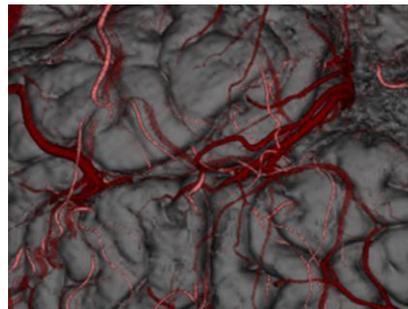
2016年1月1日 ～ 2017年12月31日の間に、虎の門病院脳神経外科で開頭クリッピング術を受けられた20歳以上の未破裂中大脳動脈瘤の方

### 【研究課題名】

未破裂脳動脈瘤に対するクリッピング術における3次元再構成画像の有用性の検討

### 【研究の目的・背景】

脳神経外科手術においては、頭蓋骨といったせまい空間に多数の構造物が存在することから、頭蓋内の3次元解剖の把握が困難なことが少なくありません。近年、術前のMRIやCTから作成された3次元画像が複雑な解剖の把握に有用と報告されております。しかし従来の3次元画像では、特に静脈を含めた細い血管を3次元表示することは困難であり作成した3次元画像が実際の術野と異なるため、脳動脈瘤に対する開頭クリッピングの術前検討に応用するにはあまり有用ではありませんでした。当科では以前より脳動脈の詳細な3次元表示に積極的に取り組んでおり、通常の方法では表示することが困難な微小な構造物も表示することが可能であることを明らかにしてきました(Kanayama S, Hara T, et al. *Neuroradiology*. 2015, 57(2):155-62)。当科では、これまでこの微小構造物も詳細に表示が可能といった手法を応用して、3次元脳血管撮影のデータから脳の動静脈を3次元表示し術前シミュレーションに応用してきました。本研究では、当院で作成している3次元画像が従来の画像と比較して、術前シミュレーションにおいて有用か否かを検討することを目的としております。本手法と同程度に詳細な表示が可能な3次元画像の報告はこれまでされておらず、今回の手法は開頭クリッピング術の安全性向上に多いに寄与する可能性があるため、意義のある研究だと思われま



術前3次元画像

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年8月28日 ～ 2021年12月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院 脳神経外科 部長 原貴行のもと、研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は研究結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日まで保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

検査データ、診療記録、脳血管撮影画像データ、CTデータなど

【研究代表者】

虎の門病院 脳神経外科 部長 原貴行

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院 脳神経外科 部長 原貴行

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2020年12月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 脳神経外科 吉野正紀

電話 03-3588-1111(代表)